

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・夏のエアコンに続き、デジタルテレビの売上も非常に上がってきている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこ特需となっており、売上も前年比130%と予想通りの動きをしている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新規展示物の完成を受けて、猛暑にもかかわらず、夏休み中はほぼ前年の倍に近い来園者を迎えることが出来た。
	やや良く なっている	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・改装効果もあると思うが、先月、今月と衣料品が大きく前年をクリアしている。食品と住まいの商品等についても前年を越えてきているので、若干良い。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・10月からたばこの値上げがあるので、値上げ前の需要が大分大きかった。ただし、一般商品は若干、停滞しているような感じがする。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこの増税の関係で、先月よりも販売量が大幅に増えている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・残暑のおかげで、エコポイント対象商品のエアコンが予約注文なども含め、よく売れた。また、アナログ放送停波もあり、テレビも順調に小型の物が動いている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・今までより売上が増加している。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・猛暑によるスタミナメニューの注文も一段落して、通常メニューになり、客単価が若干、下回っている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・宿泊人数は好調であった。この夏の猛暑により、避暑目的の客が増えたことも理由の1つである。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・ランドセルの予約注文も取っているが、9月までの状況では前年比約2分の1まで落ち込んでいる。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・彼岸のころまで続いていた暑さに対応できず、客は食欲も出ないようで、皆簡単な食事で済ませている。弁当屋なども値下げしているが、ぱっとしない。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・県外資本の出店により、県内各社の低価格志向の動きが更に過激になっている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数と客単価は前年並みで、ここ2～3か月は下落に歯止めが掛かっているが、低い水準で停滞している。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・新たな競合店が出店した影響を受けたが、たばこの売上が前年の4倍ほどあったのでマイナス分はカバーできている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・猛烈な残暑は功罪両面あり、食品では飲料、氷菓などが好調だが、夏物は停滞し、本来中旬以降に売れるべき秋物も苦戦している。衣料品は肌着が相変わらず好調で120%の動きがあるが、パジャマが80%とダウンし、長そでTシャツやジャケット類も80～90%台と動きが鈍い。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・来月からたばこの値上げがあるので売上は大変伸びているが、利益率が少ないので、あまり変わらない。
		衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・9月に幾分なりとも朝晩涼しくなるかと期待していたが、猛暑が続いたため、夏物も秋物も動かない。客は本当の意味で様子見をしており、かなりしんどい状況に変化がない。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・会社関係では中間決算時期であり、無駄な物は買わない状況である。
乗用車販売店（販売担当）		販売量の動き	・毎月のことだが、新車の販売が伸び悩んでおり、高額の新車がほとんど出ない。しかし、中古車でそこそこ安価なものに関してはある程度動いており、先々月から販売量にさほど大きな変動はない。	
住関連専門店（開発業務責任者）		単価の動き	・客数と買上点数で減少が続いている。また、暑さが継続したために、秋物の動向が鈍く、売上の前年割れ部門が増加している。	
一般レストラン（経営者）		来客数の動き	・猛暑の影響で、高原の観光地は大変な入込だったが、かえって街中の観光地は落ち込んでしまい、飲食業には大きな影響が出ている。	
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊、宴席予約状況が横ばいとなっている。		

	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・催し物に加え、リピート客が無難に入ったことが最大要因となり、宿泊関係は良かったが、宴会、レストラン部門は落ち込む状況にある。
	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・顧客の会社の経営状態が悪く、社員旅行ができない会社が増えている。秋の団体旅行の受注率は4~5年前の50%程度しかない。
	旅行代理店(副支店長)	来客数の動き	・9月中旬ごろまでの猛暑のためか出足が鈍く、集客状況が良くない。円高影響もあり、景気の回復には至らない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・猛暑、長雨といった気候条件による良好な影響を除くと、夜間の飲食関係における客は減少している。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・残暑のせい、昼間の動きが少し良く、前年同月比4%の増収であったが、残暑が終わればこの先不安である。
	通信会社(局長)	販売量の動き	・9月も猛暑続きで、販売員も疲弊気味のため、直接販売では苦戦したが、店舗販売ではやや善戦している。
	遊園地(職員)	来客数の動き	・前年は9月の大型連休の集客が好調であったが、本年は低調であった。しかし、7月にオープンした新規施設が好評であり、関連商品の売上が好調に推移しているため、消費単価については前年を上回っている。魅力的な商品の追加を継続的に行うことで、客の消費意欲を刺激している。
	ゴルフ場(支配人)	それ以外	・周辺コースが集客のために更にプレー料金を値下げしたので、それに対抗するため単価が落ち込んだ。また、悪天候で芝が枯れ、その張替えのための費用がかさんでくる。
	競輪場(職員)	単価の動き	・入場者数はそこそこで変化はみられないが、1人当たりの単価が徐々に下降している。
	美容室(経営者)	それ以外	・9月前半の猛暑の影響で、来客数が減っている状況である。通信制の美容専門学校の入学生は前年より2割増加しており、入学生の少ない通信制に流れる傾向になっている。昼間制の推薦願書が始まるが、今一歩盛り上がりには欠ける。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・現在は来客数、単価共に若干の上向きに転じているが、サービス券を利用する客が非常に多い上、客は出庫時間ぎりぎりにあわせて賢く利用しているので、それを含めて考えると横ばいである。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・新規の依頼はほとんどなく、計画をしても景気の様子を見ている客もいて、変わらず仕事量が少ない状況である。
	設計事務所(所長)	お客様の様子	・しばらく前から、個人住宅の建築に対する客からの相談や照会は皆無に等しく、住宅以外の物件も動きは多少あるが数が少ない。今月も相変わらずである。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・決算時期ということもあり、月末の見積依頼件数が多かった。3か月前と比較して、社内も非常に忙しかった。
	住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・夏場に増加した別荘見学客が購入に結び付いていない。猛暑により、一時的に来客数は増加したものの、売上高は変わらず低調である。
	住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・販売量、来客数の落ち込みが目立つようになってきている。
	住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・物件の引き合いがなく悪い状況が続いているが、中古住宅で1千万がらみの物件は問い合わせが少し増えてきている。店舗等は相変わらず閉店や廃業が目立って、シャッターがどんどん増えている。
	住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・受注量、金額はずっと横ばいの状態が継続している。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・昨年の大型シルバーウィークと比べると、今年のお彼岸連休の落ち込みは激し過ぎる。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・平日の人出は少ないので、せめて土日祭日に期待するのだが、これも期待に反し少ない上に、財布のひもはさらに固い。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・前年同月比の来客数は80%で、客単価も減っている。

一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑の夏が過ぎ、商品の動きも鈍くなっている。急に寒くなってきたので暖房の話もチラホラとあるが、大物商品の成約には至らない。相変わらず消費動向は慎重で、不必要な物の購入は控え気味である。
一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・本当に必要なものだけを買うという動きで、客単価はかなり低い。
百貨店（総務担当）	お客様の様子	・チラシの食品など超目玉品の売上は前年比115%と良いが、粗利益が取れず、苦戦している。衣料品は秋物の動きが全く無く、売上の確保ができず、夏物もない。今月は、ギフト品の好調とお彼岸の引き物が増加したおかげで、売上全体は目標を達成出来たが、粗利益額は前年並みになりそうである。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・この夏の猛暑の影響が非常に大きく、9月中旬まで残暑が続いたために紳士部門では、そでものの動きが非常に悪くなっている。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月中旬ごろまでの残暑の影響により、アパレルを中心とした秋物の動きが極めて悪い。回復基調にあった婦人服についても、今月は前年を大きく下回っている。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・残暑の影響で秋物衣料が極度の不振となっている。店全体で非常に大きな割合を占めているので、他の商品群ではフォローしきれないほどである。対して食品の売上はほぼ横ばいとなっており、生活に直結する物以外は依然厳しい状態が続いている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・輸出向け電気関係製造業界の不振が、現在の当店の客数不足、単価不足の根底にも影響している。決まった人口の中での取り合いなので、このまま行くと、また安売り合戦の様相を呈するのは明白である。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこのまとめ買いで今月だけは前年比を10%以上上回っているが、前月比では大きく下回っている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価は前年と比較して20～30円下がっており、買上点数も1点当たりの減少が見受けられる。また近くの店の影響が強く、状況としては良いとはいえない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・現在の経済は厳しい状況である。特定の施策が終了した時点で大きく下降してきている。
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・エコカー補助金が終わることで各メーカーはそれに変わる販売施策を打ち出しているが、エコカー補助金ほど効果が見えない。
高級レストラン（店長）	販売量の動き	・ここ1年、売上が少しずつ前年実績を下回っており、まだ下げ止まる見込みはない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客が食事を控えているのが、常連客の来店頻度が減ってきている。また、ファミリー層やサラリーマン層など、すべての客層で来客数が減っている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・通常は日によって客の動向に差があるが、現在は平日、土日とも差がない。それだけ土日の客が減っているということである。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・人の流れが無くなった。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・前年まであった大きな大会の参加者等の宿泊がなく、学校関係のスポーツ団体の全体的な縮小や中止が目立っている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・円高と日銀介入による、為替不安定な状況の影響を受けている。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・秋の行楽シーズンを迎えたが、企業からの発注が厳しい。また、今日の不安な情勢の中、個人需要も鈍化している。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・例年、官公庁や外郭団体から下半期の受注が殺到するが、今年に限ってはその動きが全くない。一般の受注もかなり低下している。
通信会社（販売担当）	来客数の動き	・夏休みが終わり支出を抑えている様子で、来客数、販売数共に前年比で20%減少である。
通信会社（営業担当）	来客数の動き	・夏休み等で出費が重なったせいか、来店自体も減り、数字に影響が出ている。
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数が前年より減っている。

		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	それ以外	・ゲームセンターの中に紙幣を小銭に変えるための両替機が6台あるが、5千円札や1万円札の使用量が減ってきており、千円札から両替する客が非常に増えている。また、週末には両替機のお金が足りなくなるので、予備金を用意するのだが、ここのところ、予備金の余る状況が目立つ。
		その他サービス [フィットネスクラブ] (マネージャー)	単価の動き	・価格の低い会員にしか反応がない。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・客の動向を見ていると、先行き不安から、全体的にお金を使わないように節約している印象である。
悪くなっている		一般小売店 [衣料] (経営者)	販売量の動き	・9月中に行われる運動会に期待をしていたが、天候が暑いまま変化しなかったことに影響を受け、販売量が悪く、すべてのものが動かなくなっている。
		衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・暑い夏が続く、秋物の販売量が極端に少なくなっている。
		衣料品専門店 (店長)	販売量の動き	・9月の中では、過去20年の中で最も悪い売上高と来客数である。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・エコカー補助金が終わった途端、販売量が本当にぐんと減っている。
		スナック (経営者)	来客数の動き	・例年よりも40%のダウンと、開店して30年以来、初めての売上になってしまった。
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・当地はちょうど農繁期で忙しい時期で、街中に人が出てくるのが少ない。また、大きな大会もなく、コンベンション関係もないので、宿泊客も少なく、非常に閑散としている。
	企業動向関連	良くなっている	-	-
やや良くなっている		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・以前と比べると仕事が少し出てきて、多少は楽になってきた。
		その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月は、半期の締めということもあり、販売量は増加している。
変わらない		食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・残暑が厳しいこともあり、秋商材よりも夏商材のほうが売れている。
		食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・今年は例年になく、猛暑が続いた影響でワインの消費は低調であった。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・例年の季節商品受注が早まり、一時的には仕事量もあるものの、Webも含めた店頭販売は相変わらず低迷している。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・このところ自動車の新興国への生産移動、空洞化が加速する中で、ここにきて取引先でも特殊車両の分野で現地生産への移動が始まるようであり、大変心配している。
		一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・客先によって好不調がまちまちであり、また、下期に入るにあたり様子見の客も増えており、全体の仕事量としては変わっていない。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・先月までは良い会社と悪い会社が半々であったが、良い会社のほうでは若干、販売受注量が落ちてきたようである。悪い会社は相変わらず悪い。
		輸送業 (営業担当)	取引先の様子	・今年の夏は残暑により本来の季節商材のずれが生じ、季節家電、衣類等の物量の動きが少し落ち込んでいる。しかし、住宅エコポイントの住建材等の物量は多少動きが良く、全体的には前年をやや下回っている状況である。
		通信業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・得意先も厳しい状況で、この数か月新規発注がほとんど無い。明らかに景気は低迷している。
		金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・観光地においては、昨年の新型インフルエンザの影響から脱し、一昨年の状況にほぼ戻り、今年の夏から比較的好調に推移している。
		金融業 (総務担当)	取引先の様子	・たばこの駆け込み需要で売上が伸びたという取引先もあるが、その一方で、定期的な受注を解消され、売上が減少したという取引先もある。
不動産業 (営業担当)		取引先の様子	・最近、近隣ホテルと協議会を行ったところ、今年度に入ってから稼働が下がり気味で、厳しい状況は競争相手も同様である。	

		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシ出稿量は97.6%となっており、なかなか前年を上回る勢いは取り戻せない。今月の前半は低迷したが、後半になって盛り返した。また、数年前から官庁や企業の制服が廃止される傾向が続いており、衣替えを前に、今年制服を新調する官庁や企業は更に減っていると聞いている。
		社会保険労務士	取引先の様子	・売上が伸びている事業所はほとんどないが、急激に売上が落ちている事業所もない。
やや悪くなっている		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏休みと連休の影響で、ユーザーの消費が悪く、低調であった。全国販売商品は業界低迷のため、出荷がまるで見えない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べ1割程度ダウンしている。10月の受注はエコカー補助金の終了と円高の影響で、今月と比較してかなり落ち始めてきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が減って来ており、在庫が増えている。先行きを心配して生産を落とすなどの情報が飛んでおり、当社も9月に一部の生産が落ちている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・これまでは主力メーカーからの受注量が増えてきていたが、エコカー補助金打ち切りと同時に、国内では生産調整に入っている。非常に円高傾向が顕著なため、主力メーカーは海外にシフトしようとしている様子であり、その上、受注量が落ち込み始めたことにより、コストダウン要請も厳しくなった。例年より前倒しで、非常に大きな負担がのしかかっている。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	取引先の様子	・灰家電プラント関連のうち、フロン関連は良いが、車の钣金、塗装関連は横ばいである。行政向け装置は今年前半から予定に入っている所を別にして、来年度予算に入れる気配が感じられない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の受注に変化がみられ、一部でレアメタル等の材料調達に滞っている動きもある。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・契約会社とオーナーとの間で問題やトラブルがやや増えていると聞いているので、条件が厳しくなっていることが推察できる。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・飲食店の客入りは、相変わらず悪く、求人広告件数やPR広告出稿数が落ちている。
悪くなっている		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月の展示会でも来場者は少なく、売上もダウンしている。秋冬用の新作、またクリスマス用の新製品への関心も薄かった。どの店も現状のやり繰りで一杯で仕入意欲がない。
		金融業（役員）	取引先の様子	・すべての業種において、設備投資や在庫手当資金などの前向きな資金需要が極端に低下している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・地域の経済活動の指標とも言える建設業の業況が一段と悪化している。夏場の観光地関係、商業関係の業績が軒並み不振で、中小企業の資金繰りや経営改善の状況はさらに後退している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・介護関係の医療、看護師、介護士といった募集は目立っている。電機、自動車関係も前月より伸びてきており、募集に活発さが見受けられる。住宅関連については増改築等があったようだが、まだ不透明なところがある。夏物は衣料も含め、電器、家電は良かったように見受けられた。
		人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・営業アポイントが増え、契約件数が徐々に上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・主要産業の電気機械器具及び輸送用機械器具の製造業が大きく増加したことの影響により、流通業関係の運輸業も大きく増加した。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が増加傾向にあり、ハローワークの紹介による就職者数も増加しているが、内訳は一般常用よりもパートの就職者数が増加している傾向にある。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・今まで仕事を頼まれると募集人数が多かったが、最近は仕事も人数も少ない。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・介護、医療関係、サービス業等の求人は多少目立つが、その中でも正社員は少なく、パート募集が多い。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・今年8月の新規求人数は、前月比で微減となるが、前年同月比で20%以上増加した。求人を持ち直しの動きがあるものの、臨時、契約社員、派遣社員求人が増加し、正社員求人は同水準のままである。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人、新規求職者の動きはそれほど大きくないが、前年度に比べると求人数は増えている。ただし製造業等からの求人は目立っていない。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・前年との数値比較において、新規求職者数が一般、パート共に若干ではあるが増えている。職業相談や求人情報を求めて窓口を訪れる来所者の数も連日多く、印象としても、仕事探しをしている人が減っているという感触はない。
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・求人社数、求人者数共に増加していない。特にコンピュータ関係等、職種によっては一向に求人がなく、欠員募集を待つような状況である。
やや悪くなっている			
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・広告スポンサーの閉店、廃業がここのところ多い。